真宝
部の
十二編上

蹴鞠の段い上若菜の眼目なるべし〜先譯ゆい鎌倉幕府の手毬の會を思寄稚氣ふ書綴しをかりしきゆ再同案の著述をべしと折往昔の鞠興い當代の追羽根とゆふ物ゆ似るゆうゆゆ〜い今般い此と腹稿なると既ゆ傾城水滸傳ゆ宋徽宗の毬と後鳥羽天皇の御衛羽根ゆ代うけれい復用んも事舊ぬ為ぬ本編ゆい只原文ゆまゆと俗調ゆ改し其餘も七八分新意を出さぬあるべかるい四本懸の窮屈うり猶骨のゆ折眼目ゆ留るべきあるもゆ〜偖夕霧と柏木の同車ゆ条い其儘擱ゆて牛車のうゆゆ騎換さゆて馬ゆ後脚賞人もあるゆ〜嗟朋友の作を續ゆべゆ故人の後馬ゆのらな痩我慢勞〜と功ゆき著編ゆこそ

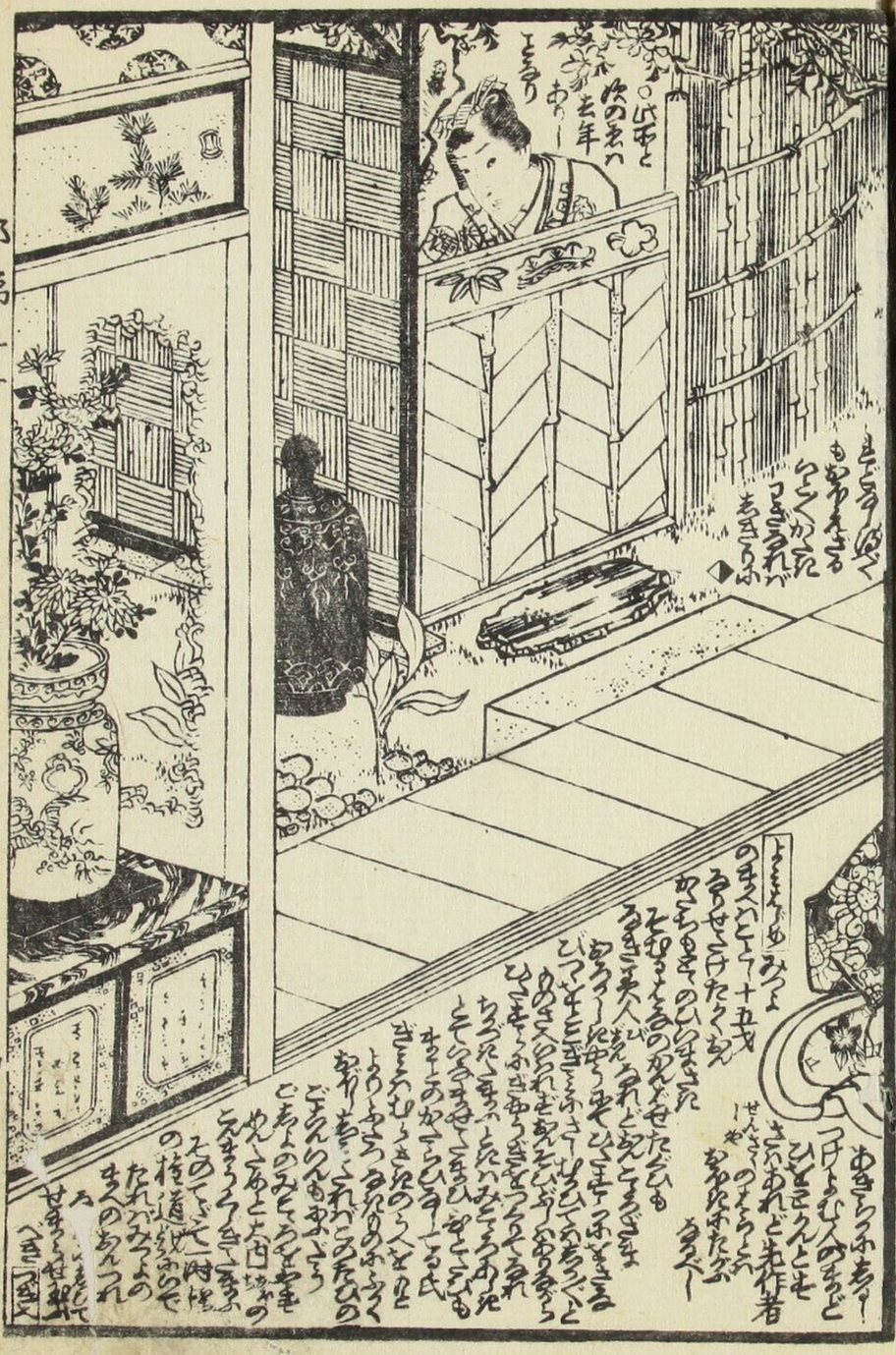
于時嘉永七年嘉平月中旬脱稿
同八年孟陬新刊

笠亭仙果序

慈照院殿
御在世のもとに
潜て稲荷山ゟ
御参詣あり時
鐘礼の雨ゟ遇
こまひあゆ〜の
少女ゟ雨具を
借さるゝこと
三津世姫柏之助の
密通の話あつ〜
新ゟ設るところ四て
柏木の巻あく
季曲ゟ分角
東山義政公
賤女
田中の苅穂

熙圓
大僧正
西山入道
御所初冬
急雨ホ北野
七本松ヲ
尼ヶ巷ホ
御笠宿
去年ヒ

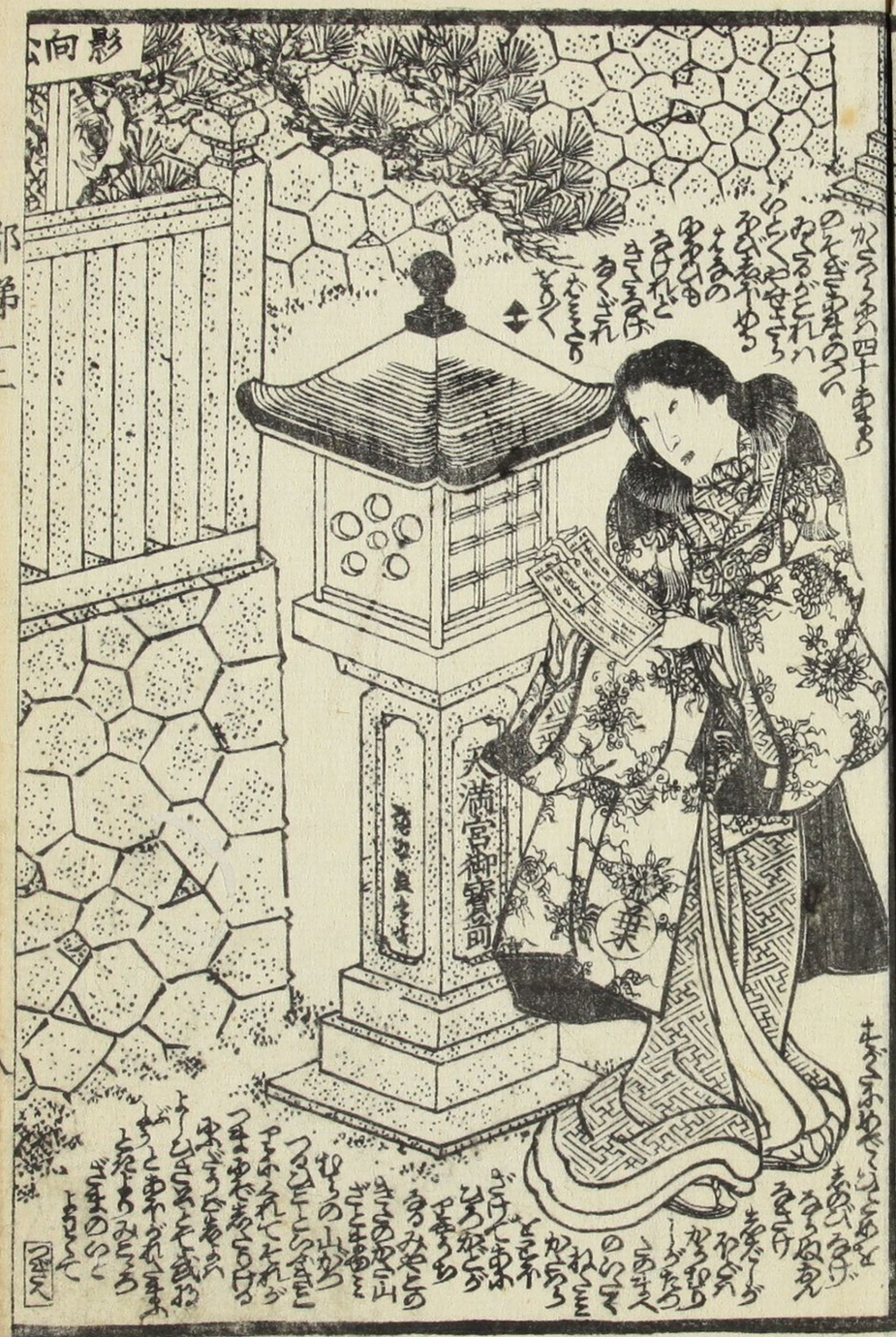
紅葉尼女落葉



中
軍

中
揚

尚
侍


天満宮御寶前

笠亭仙果著
梅蝶樓國貞画

稲妻形怪鼠標子　東西馬　國貞画

比翼裁縫　笠亭仙果作　一雄齋國輝画　俩權八

地獄稲妻問屋　式亭三馬作　歌川豊国画

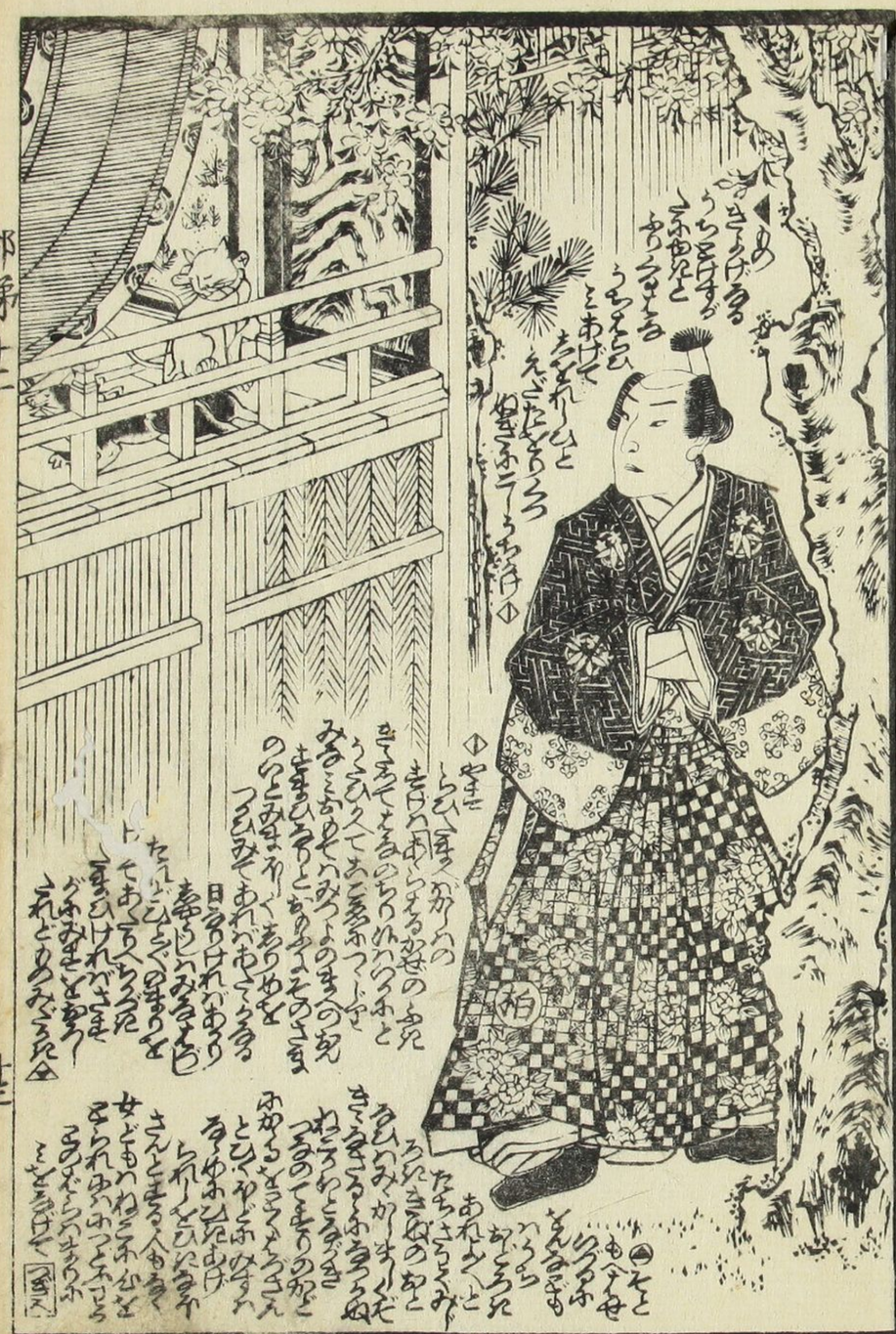
誠忠大星譚　柳下亭種員作　一陽齋豊國画

十二宮
成下

笠亭仙果作
一壽齋國貞畫
武田
壽屋
板

女
柏

助
兵
松



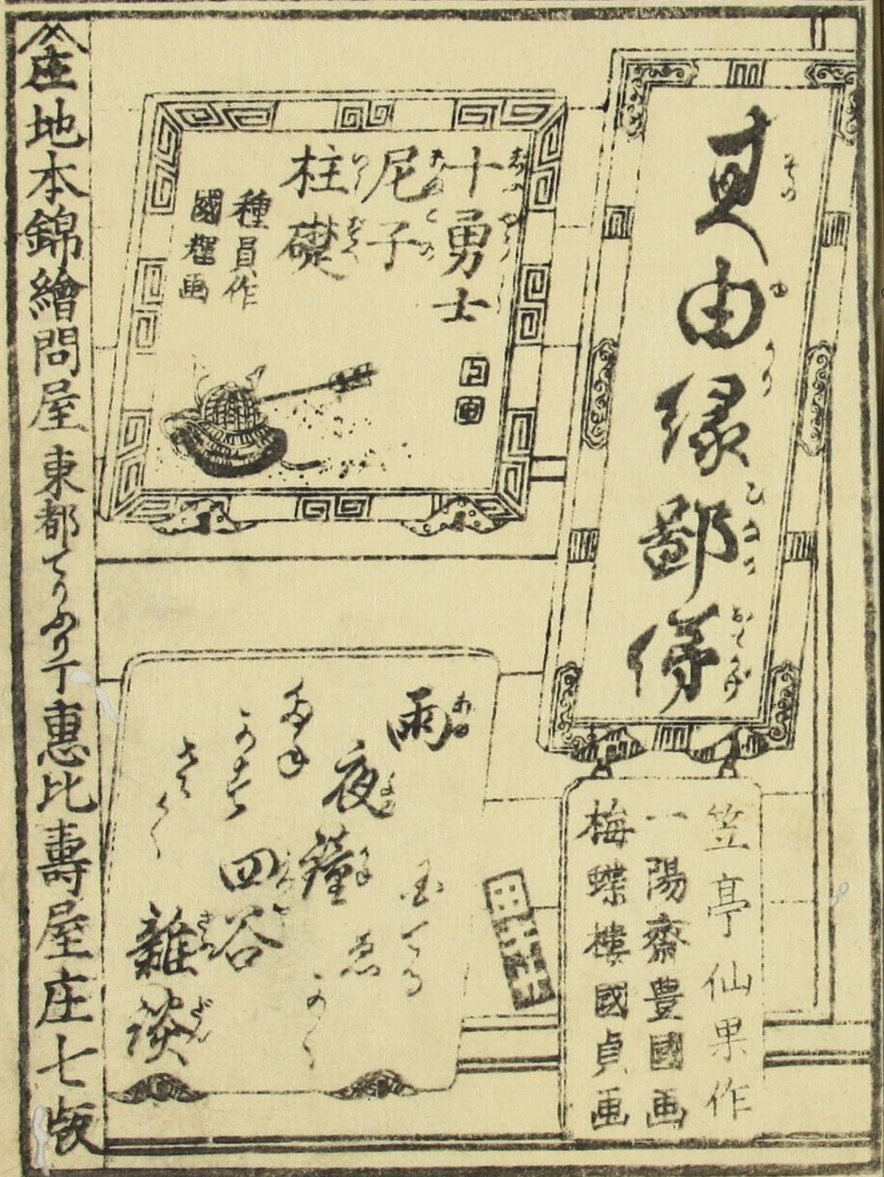
駒
揚
世

柏

氏

馬
艮

安政二乙卯新鐫目録



江戸地本錦繪問屋東都てうりう丁惠比壽屋庄七版